

南高図書館だより

2024 年 1 月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



スターツ出版文庫
(図書館では単行本を所蔵しています)

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』

汐見夏衛／著 スターツ出版

主人公の茜は、ある事情からマスクをつけていないと落ち着かないマスク依存性の女の子。それとは正反対に、絵を描くことに真っ直ぐなクラスメイト青磁。段々と距離を詰めていくふたりだが、お互い誰にも打ち明けられない秘密をかかえていた。青磁の秘密と、タイトルの意味を知るとより面白くなる本です。

『初×婚 まんがノバライズ 恋より先に結婚はじめます！』

黒崎みのり／原作・絵 五十嵐美怜／著 集英社(集英社みらい文庫)

大企業の七海社長夫婦は愛のある次期社長夫婦を見つけるべく七海学園高校をつくります。そんな学校に入学した主人公、倉下初はマッチングシステムで組まれたパートナーである鮫上紺と出会います。お互い複雑な過去を抱えていて、そんな中でこの学園に入学し、パートナーと自分を変えようとする姿がとても感動できるので是非一度読んでみて下さい！



『かがみの孤城』

辻村深月／著 ポプラ社

事情があって学校に行けない 7 人の中学生達が別世界に引き込まれ、城の鍵を探す中でそれぞれの境遇が明かされていくお話です。非現実的な内容ではあるけれど、登場人物の心情描写がリアルで感情移入したり、大切なことに気づかせてくれたりする良い作品です。中学生の時に初めて読んだ時、共感する部分もあって読む手が止まりませんでした。伏線回収や最後のまとまり方が綺麗で読み応えがあるので、是非読んでみてほしいです。

図書館からのお知らせ

◆図書館からのお知らせ◆

リサイクル図書のご案内

図書館の出入口近くに、「リサイクル図書コーナー」を作りました。

このコーナーでは、除籍等により不用となった図書館の図書を、リサイクル図書として希望者に差し上げています。「リサイクル図書コーナー」に気になる図書がありましたら、ご自由にお持ちください。



- 「リサイクル図書コーナー」の本は、**随時入れ替え**ます。
- **転売は禁止**します。
- **雑誌はありません**。図書だけです。
次回の「雑誌リサイクル」は、2024 年 12 月頃に実施予定です。
- 古い本が中心です。掘り出し物が見つかるかも？

子供の読書キャンペーン「きみに贈りたい1冊」

教育、科学技術・学術、文化やスポーツの分野で活躍中の方々による、
おすすめの本とメッセージを紹介するキャンペーンを、文部科学省が実施しています。
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/campaign_2023.html



新着図書PICKUP

12月に新しく入った本

知識の本

学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション

登本洋子、伊藤史織、後藤芳文／著 玉川大学出版部

2014年に出版された『学びの技』の改訂版。探求学習におけるテーマの見つけ方、あふれている情報から価値ある情報を収集する方法、集めた情報を分析し自分の主張につなげ、論理的に発表するやり方まで、具体的に解説。章立ては細かく、気になるところから読み進められる。

埼玉の妖怪

大明敦／著 さきたま出版会

妖怪とは何か？ 妖怪とお化けの違いは？ 埼玉の妖怪研究は川越からはじまった？ 埼玉県で語り継がれている妖怪の話に共通する特徴とは？ ―妖怪は、科学的に存在が否定されても、多くの人々の心を惹きつける。さいたま文学館主任専門員による、埼玉県の妖怪研究。

世界史の中の戦国大名

鹿毛敏夫／著 講談社(講談社現代新書)

十六世紀、戦国大名たちは一国の「王」を名乗って、東南アジアからヨーロッパへと「グローバル」に活動範囲を拡大していった。日本史だけではわからない、戦国大名の新たな姿。

コード きこえない親の通訳を担う子どもたち

中津真美／著 金子書房

「コード」とは、きこえない／きこえにくい親をもつ、きこえる子どものこと。多くのコードに共通するのは、親の通訳の役割である。コードたちに話をきくと、子どもが通訳を担うには難しい、生命保険の契約や相続の場面の通訳の経験談も出てくる。自身もきこえない父をもつコードである著者による、通訳という役割を通してみるコードの気持ちと親子関係について書かれた本。

90分でブラックホールがわかる本

福江純／著 カサハラテツロー／コミック・イラスト 大和書房

2019年ブラックホールを取り巻く電波で輝くリング(ブラックホールシャドー)の姿が公開された。このリングの内部の領域はブラックホールの姿とほぼ同等である。ついに“視えない”天体ブラックホールが、人類の前に姿を見せたのだ！ゼロからわかるブラックホール特別講義。

自宅で湿地帯ビオトープ！ 生物多様性を守る水辺づくり

中島淳／著 大童澄隆／画 大和書房

いつか家に池や湿地帯をつくりたい人のために、自宅で湿地帯ビオトープが作れる本が誕生。材料集めの方法から、みんなが作ったビオトープ紹介、ビオトープに適した生き物図鑑まで収録。カバートとプロログまんがは、自宅の庭にビオトープを作っている、アニメ化もされた『映像研には手を出すな！』の著者によるもの。

ぼっち現代文 わかり合えない私たちのための〈読解力〉入門

小池陽慈／著 河出書房新社

人は、人を理解することができるのか。人嫌いで家族以外の誰とも関わらずに生きていきたい、でも本音はたった一人でもいいから真にわかり合える友に出会いたい、という著者。本書では、『走れメロス』や『なめとこ山の熊』等10作品の読み解き方と人とわかり合うことを考える。

小説・文学

ぎんなみ商店街の事件簿 BROTHER編、SISTER編

井上真偽／著 小学館

愛する地元のぎんなみ商店街で起きた事件に、四兄弟サイドから迫る〈BROTHER 編〉と、焼き鳥店「串真佐」の三姉妹サイドから迫る〈SISTER 編〉。同じ事件、同じ手がかりを見ているのに、四兄弟と三姉妹の推理はまったく違う展開に。あなたはどちらから読んでみる？

杉森くんを殺すには

長谷川まりる／作 おさつ／装画・挿絵 くもん出版

高校一年生のヒロは、親友の杉森くんを「殺す」ことにした。大学生のミトさんからの「やりのこしたことをやる」、「殺さなきゃいけない理由をまとめておく」、というアドバイスに従い行動するなかで、ヒロは様々な体験をし、色々な人と出合いつながっていく。傷ついた心が回復する物語。

エヴァーグリーン・ゲーム

石井仁蔵／著 ポプラ社

チェスという頭脳スポーツに魅せられた4人の若者たち。章ごとに主役が変わり、彼らの背景や思いが描かれる。最後、登場人物たちは日本一を決める大会のチェスワングランプリに集い、闘う。若者たちの人生を懸けた勝負の行方は。 ★第12回ポプラ社小説新人賞受賞作

ミライの源氏物語

山崎ナオコーラ／著 淡交社

マザコン、ロリコン、ルッキズム、貧困、ジェンダー…『源氏物語』には、今の社会規範から見ると「ひどい」と感じられる箇所がある。現代を生きる私たちは、どう読み解き、未来に活かせるか。作家でもある著者は、面白い読書になるかもしれないちょっと違う読み方を提案する。現代における『源氏物語』の読書について考える本。 ★第33回Bunkamuraドゥマゴ文学賞受賞作

文庫本

法廷遊戯

五十嵐律人／著 講談社(講談社文庫)

ロースクールに通う久我清義(くが・きよよし)と織本美鈴(おりもと・みれい)。ある日、二人の「過去」を知る者による嫌がらせが始まり、予想外の殺人事件が発生する。大学で繰り広げられる模擬裁判を舞台とした「無辜ゲーム」と、事件後の公判を描く「法廷遊戯」の二章から成るミステリー小説。2023年映画化の原作。 ★第62回メフィスト賞受賞作

ベートーヴェン捏造 名プロデューサーは嘘をつく

かげはら史帆／著 河出書房新社(河出文庫)

1977年ベートーヴェン没後150周年。聴覚を失ったベートーヴェンが筆談用に使っていた「会話帳」に改竄の形跡があるという研究が発表された。犯人は、アントン・フェリックス・シンドラ。晩年のベートーヴェンを補佐した人物である。捏造の経緯を辿る、歴史ノンフィクション。